

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(令和2年度分)

施設名 湖北ファミリー農園
 指定管理者 株式会社さんびる
 担当課 農政課
 指定期間 令和2年4月1日～令和5年3月31日

1. 総合評価

市	A	【優れていると評価した点】 施設の清掃、農園備品の整備や空き区画や共有部分の管理など、農園施設の基本的な管理が丁寧に行われている。特に農園使用者に対する手厚いサポートと細かな心配りを行っており、使用者との信頼関係も大変良好である。不測の事態に対しても、組織力を活かして迅速な対応がなされ、使用者と管理者の信頼関係の構築につながっており、実際の使用者のアンケートからも高評価がうかがえる。大きなトラブルは発生しておらず、適切な管理が行われている。
	A	【評価できない、または改善すべき点】 使用者の増加に向け、公民館へのチラシ配布など広報活動を積極的に実施しており、新規使用者は安定していたものの、高齢化による使用中止の申し出も毎年一定数あるため、使用者増加にはつながっていない。新規使用者獲得への周知に合わせ、使用区画の増加につながるよう、魅力ある作物の紹介や、作付の講習などにより、効果的なPR活動等の実施が必要である。
指定管理者	A	【優れていると評価した点】 管理者が農業に精通した人物という事を活かし、初心者へ菜園作りの基礎のレクチャーや肥料の説明をさせていただくなど、農業への関心を深めてもらうための活動が出来た。また、自主事業で販売してきた肥料のラインナップを見直し、価格帯も使用者の方々から好評いただいている。使用者に無料貸出しをしている耕運機も、毎日の手入れと定期的かつ臨時的に点検、整備をしており、この一年間で故障や不具合はない。
	A	【評価できない、または改善すべき点】 広報活動について積極的に行ってきたが思うように使用者は増えなかった。使用者の大半が高齢者という事もあり、体力面から使用を中止される方も多かった。高齢者のみならず若い世代にも湖北ファミリー農園を知っていただく活動を考え、もっと行動が出来たのではないかと反省も残る。今後は、多数の意見を積極的に聞き取り、使用者の増加につながる活動のアイデアを考え実行し、SNSも活用するなど広報活動を強化していく。

2. 施設利用の増減について

総括	農園使用者のニーズに応えサービス向上につなげるため、ファミリー農園の形状に合った肥料や土壌改良材を選んで販売したり、苗生産者と直接契約をして安価で優良な野菜苗を販売するなど、自主事業に力を入れており、収入を上げている。「手ぶらで野菜作り」をキャッチフレーズに、便利な環境作りに重点をおいた事業展開をしているが、農園の利用者が高齢化で使用中止をする一方で、社会的に進む定年後の再雇用や定年延長により、農園で家庭菜園を楽しむための余暇・時間は減っており、新規の申込者の大幅な増加にはつながっていない。現在の使用者を複数区画利用に誘う、また、若者の興味を引くようなPRをするといったアイデアを期待する。
----	---

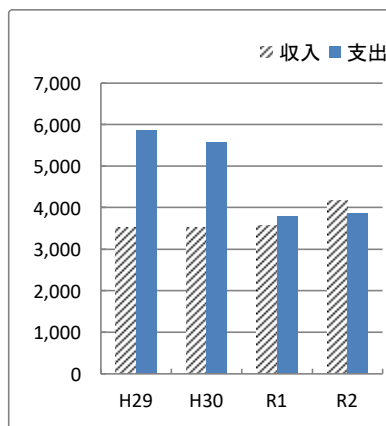
(1) 収支状況の推移（自主事業を除く）

(千円)

収入・支出の推移（自主事業を除く）		（百万円）			
項目\年度	H29	H30	R1	R2	
施設の収支	収入	3,530	3,530	3,563	4,187
	うち指定管理料	3,530	3,530	3,563	4,187
	うち利用料	0			0
	支出	5,854	5,576	3,793	3,850
	差引	△ 2,324	△ 2,046	△ 230	337

上記以外の市の収入、支出

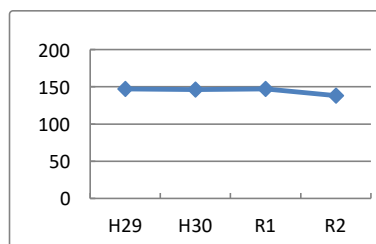
市の収支	収入(使用料)	2,324	2,211	2,170	2,187
	支出	2,978	2,774	2,603	2,897
	うち市の修繕費	0	0	0	265



(2) 利用者の推移

(人)

H29	H30	R1	R2
147	146	147	138



【参考】産出指標(アウトプット)・成果指標(アウトカム)の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標(指標)を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標(指標)がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果(アウトプット)や活動からもたらされた成果(アウトカム)を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

- A 基準値 : 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値
- B 目標値 : 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値
- C 実績値 : 当該年度の実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する達成度 C/B	基準に対する達成度 C/A
アウトプット	利用者数(使用農園区画数)	180	190	138	72.6%	76.7%
	利用者アンケート満足度(%)	80	85	100	117.6%	125.0%
アウトカム	○農業に対する理解が深まること ○農作業を通じ健康とゆとりのある生活に資すること	70	70	70		
	達成度平均				95.1%	100.8%

	指定管理者	市
達成度に対する意見	【達成度に寄与した・有効だった取組みの内容、次期に向けた課題】 今年度から農業に精通した管理人を配置した。農業が初めての使用者から要望があれば菜園作りのお手伝いをさせていただいたり、使用者と積極的にコミュニケーションを取る事で、日常会話の中でも農業についての情報交換や農業への関心を深める時間を作る事が出来た。また、農具倉庫の解錠時間を設けたが、使用者が好きな時間に農作業ができるよう、出入口にキーボックスを設置し、使用者自らが解錠できるようにした。今後の課題として、使用区画数の目標達成のために今までやってきた広報活動の内容を見直す必要がある。	【達成度の原因・分析】 利用者数について、新規使用者は一定数確保できているが、全体としては減少傾向にある。使用中止に関しては、令和元年度末が農園使用の更新時期であったことや、高齢化が原因で中止をされている。高齢化への対策は困難と思われるため、中止の数を上回る新規使用者獲得や複数区画使用に向けた策が必要である。満足度については、行き届いた清掃や設備の管理など、管理者の対応により非常に良い結果となった。使用者が使用を継続することにもつながっているため、現在の管理を維持してもらいたい。

(3) 利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
138	Q.「スタッフの対応」 Q.「施設の清潔さ」 Q.「利用しやすさ」 の回答合計 ①満足している 91件(65.9%) ②ふつう 44件(31.9%) ③満足していない 3件(2.2%)	①良い 親切に聞いてもらえる、対応が良い、トイレが綺麗。 ②苦情 通路の草刈りをもっとしてもらえると助かる。 ③要望 水栓のパッキンが古くなっているため替えてほしい。 →対応:交換の必要なパッキン・本体は順次交換。

(4) 住民サービス向上の事例

農園は植栽に囲まれ、芝生の広場があるなど、空き農園の管理以外にも手入れが必要な部分が多い。組織力を活かし、頻繁に草刈りを実施するなど使用者が農園を使用しやすい環境整備が実施されていた。

3. 自主事業

総括	わらや堆肥、土壌改良材など農園利用者のニーズやファミリー農園の形状に合わせた物資の販売が実施されている。 また、農業経験があまりない人でも気軽に利用できるよう、農業教室開催や指導にむけた意欲が見られる。
実施状況	わらや堆肥、土壌改良材などの販売(随時) 農作業に詳しい管理人の選定

4. 特記事項

当初自主事業として予定されていた農業教室については、講師が不在であったため実施できなかったが、次年度にむけては開催の目途がたっている。また、夏野菜苗の販売については、苗が病害虫被害をうけ十分な品質を確保できなかったため中止した。

5. 今年度の目標・課題

・農園施設の維持、管理はこれまで通り実施。あわせて、使用者のニーズに丁寧な対応を行う。
 ・新規利用者の発掘、現使用者の複数区画使用を誘う仕掛けづくりなどJAの協力を得ながら使用区画の増に向けた活動や広報の方法について検討をする。